

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成23年7月14日(2011.7.14)

【公開番号】特開2010-49354(P2010-49354A)

【公開日】平成22年3月4日(2010.3.4)

【年通号数】公開・登録公報2010-009

【出願番号】特願2008-211045(P2008-211045)

【国際特許分類】

G 06 F 3/048 (2006.01)

G 06 F 17/21 (2006.01)

【F I】

G 06 F 3/048 6 2 0

G 06 F 17/21 5 6 2 D

G 06 F 17/21 5 6 2 C

G 06 F 3/048 6 5 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成23年5月31日(2011.5.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コンテンツの構成要素を表示する表示手段と、

前記表示手段上での操作を検知する検知手段と、

前記検知手段が前記操作を検知したときに、前記操作に対応する前記構成要素に前記操作に応じた装飾情報を付加する装飾情報付加手段とを備えた

こと特徴とするコンテンツ装飾装置。

【請求項2】

前記コンテンツの構成要素が文字情報である

請求項1に記載のコンテンツ装飾装置。

【請求項3】

前記操作に対応する前記文字情報は、前記コンテンツの前記文字情報の一部である

請求項2に記載のコンテンツ装飾装置。

【請求項4】

前記コンテンツの構成要素が画像情報である

請求項1から3のいずれか1項に記載のコンテンツ装飾装置。

【請求項5】

前記画像情報を複数有し、

前記装飾情報は、前記複数の画像情報のうちの一を表示させた後、前記複数の画像情報のうちの他を表示させるものである

請求項4に記載のコンテンツ装飾装置。

【請求項6】

前記コンテンツの構成要素が絵文字である

請求項1から5のいずれか1項に記載のコンテンツ装飾装置。

【請求項7】

前記装飾情報が表示態様を指定するH T M L タグである

請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載のコンテンツ装飾装置。

【請求項 8】

前記装飾情報付加手段は、前記検知手段により検知された前記操作に応じた表示態様を表す表示態様情報を JavaScrip (登録商標) で記述し、前記コンテンツの構成要素に当該表示態様情報を前記装飾情報として付加する

請求項 1 から 7 のいずれか 1 項に記載のコンテンツ装飾装置。

【請求項 9】

前記装飾情報付加手段は、前記検知手段により検知された前記操作に応じた G I F アニメーションを作成する装飾情報を前記画像情報に付加する

請求項 4 または 5 に記載のコンテンツ装飾装置。

【請求項 10】

前記画像情報は F L A S H アプリケーションに従って作成された画像であり、前記装飾情報付加手段は、

前記画像を編集可能なファイルに変換し、前記検知手段により検知された前記操作に応じた表示態様を表す表示態様情報を ActionScrip で記述し、当該ファイルに当該表示態様情報を前記装飾情報として付加した装飾情報付加ファイルを作成し、当該装飾情報付加ファイルを再度前記 F L A S H アプリケーションに従って作成された画像に変換する

請求項 4 または 5 に記載のコンテンツ装飾装置。

【請求項 11】

コンテンツの構成要素を表示する表示手段上の操作を検知する検知ステップと、前記検知ステップで前記表示手段上の操作を検知したときに、前記操作に対応する前記構成要素に当該操作に応じた装飾情報を付加する装飾情報付加ステップとを含む

コンテンツ装飾方法。

【請求項 12】

前記コンテンツの構成要素が文字情報である

請求項 11 に記載のコンテンツ装飾方法。

【請求項 13】

コンピュータに、

コンテンツの構成要素を表示する表示手段上の操作を検知する検知処理と、前記操作を検知したときに、前記操作に対応する前記構成要素に前記操作に応じた装飾情報を付加する装飾情報付加処理と

を実行させるためのコンテンツ装飾プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明によるコンテンツ装飾装置は、コンテンツの構成要素を表示する表示手段と、表示手段上の操作を検知する検知手段と、検知手段が操作を検知したときに、操作に対応する構成要素に操作に応じた装飾情報を付加する装飾情報付加手段とを備えたことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明によるコンテンツ装飾方法は、コンテンツの構成要素を表示する表示手段上の操

作を検知する検知ステップと、検知ステップで表示手段上の操作を検知したときに、操作に対応する構成要素に操作に応じた装飾情報を付加する装飾情報付加ステップとを含むことを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明によるコンテンツ装飾プログラムは、コンピュータに、コンテンツの構成要素を表示する表示手段上の操作を検知する検知処理と、操作を検知したときに、操作に対応する構成要素に操作に応じた装飾情報を付加する装飾情報付加処理とを実行させることを特徴とする。